



ひがしの子

令和6年7月1日

岐阜市立岐阜東幼稚園

園長 広瀬 みゆき

親子遊び③ どろんこ④ 田植え⑤

ご参加くださり、ありがとうございました！

6月はそれぞれの学年で、保育に参加して下さりありがとうございました。お家の方と一緒に様々な感触遊びを行うことができ、子どもたちも楽しい時間を過ごすことができました。お時間の都合をつけていただき、本当にありがとうございました。保護者の皆さんが、“汚れること”を気にせず、思い切り楽しんでくださったことに感謝しています。大人が本気で、子どもたちと同じように遊んでくださる姿は、子どもたちにも影響しますね。楽しい気持ち伝わりました。そして、田んぼフラッグや綱引き、大人の本気は素敵でした。重ねてお礼申し上げます。

なつめさん、たいようさんは幼稚園の前の田んぼでの活動です。あの田んぼも、ご近所の方々のご好意で貸していただいております。また、田植えを指導して下さった「たかしおじいちゃん」「ひさこおばあちゃん」は、田植えができるよう、田んぼや稲の管理もして下さっていました。（これからも引き続きさせていただきます。）

なつめさんの泥んこ遊びは、予定の日が雨で延期になりました。予備日は雨はあがったものの、前日の大雨で、用水の元の水が止められてしまい、田んぼの水がない状態になりました。そんな中、たかしおじいちゃんは、早朝から田んぼを見に行ってください、実施の有無を園に相談してくださいました。悩んだ末に実施することになりましたが、その際も、たかしおじいちゃんが、用水からポンプで水を田んぼに入れてくださいました。そのおかげで、例年通りの泥んこ遊びができたのです。本当に、岐阜東幼稚園は地域の皆さんに支えられている幼稚園であることを、再び実感しました。

たいようさんが親子で植えた稲は、園の目の前の田んぼですので、いつも生長を見ることができます。登降園の際に、気にかけて見ていただけたらと思います。

家庭教育学級 開講式にご参加くださり、ありがとうございました。

27日は家庭教育学級にご参加くださり、ありがとうございました。下のお子さんを連れて参加して下さる方や、うなづきながら聞いてくださる方もいらっしゃる、保護者の皆さんの姿に感謝の気持ちでいっぱいです。今回は、「園長講話」ということで、お話をさせていただきました。日頃、幼稚園で大切にしていることを、大好きな「ひと」や「もの」、「こと」とのかかわりを通してお話をさせていただきました。できるだけ、日頃の子どもたちの素敵な姿からお伝えしたいと思いましたが、十分ではなかったかもしれません。「この部分をもっと知りたい」等、お聞きになりたいことがあれば、いつでもお声がけください。

「ワイワイガヤガヤ」にいらしてください

家庭教育学級の場では、話しきれなかったこともあります。日々、子どもたちの姿には感動があり、笑いや驚きがあります。子どもたちにとっては、悔しいことや悲しいこと、イヤなこともあることでしょう。そんな姿やご家庭での様子、子育ての喜びや悩みを、皆さんで「ワイワイガヤガヤ」とお話しませんか？基本的にはお子さんの誕生月に参加していただくことになってはいますが、ご都合もありますので、いつでも参加OKです。

場所はコミスクルームです。今まで参加していない方もぜひどうぞ。

次回は、7月16日（火）13：30～です。

8月生まれのお子さんの保護者の方は、9月上旬を予定しています。日にちは追ってお知らせします。



6月のある一場面から・・・

〇ふれあいサロンとの交流

なつめさんと地域のふれあいサロンの皆さんとの交流会がありました。歌や踊りを見ていただいた後、各テーブルに分かれて、自己紹介をしました。ふれあいサロンの方は、17名来てくださったので、ほぼ、1対1でついていただくくらいでした。七夕飾りの説明を聞いて、そのあと、一緒に作っていきました。

ふれあいサロンの皆さんは、なつめさんのペースや思いを大事にしながら、丁寧に作り方を教えてくださいました。子どもたちの中には、初めての方なので、ちょっぴりドキドキしている子もいましたが、少しずつ距離が縮まっていくようでした。「きれいにできたね。」「うまく切れたね。」等と声をかけていただき、嬉しそうな子どもたちでした。

このように幅広い世代の方と関わる経験は、子どもたちの人とのかかわりを豊かにします。ふれあいサロンの方々にとっても、「かわいいね。」「子どもたちから元気をもらったよ。」と楽しい時間となったようでした。地域の方と直接的に触れ合える機会を、今後も大切にしていきたいと思えます。



〇カブトムシがケガをした！

たいようさんのカブトムシがクワガタムシとの戦いで負傷しました。どちらが強いかの戦いだったので、クワガタムシの顎がカブトムシのお腹に刺さってしまい、慌てて担任に見せに行きました。「痛そう・・・。」「かわいそう」と周りの子がつぶやくなか、Aくんは、顎を両手で引き離しました。すると、黒い液がポタポタと落ちました。「ケガしてるから〇〇先生（養護教諭）呼んでこよう！」ということになりました。ケガ＝養護教諭ということなんですね。虫のことも大事にしているので、なんとかしてあげたい気持ちからそういう発想になったのだと思います。さて、養護教諭はどうしたと思いますか？ばんそうこうなどを持って来てくださいましたよ。カブトムシのケガを見て、ばんそうこうを小さく切って貼ることになりました。養護教諭が中心となり、子どもたちも手伝い、担任はカブトムシの足を広げ、私もばんそうこうをはる手伝いをしたりと、何人もの大人や子どもでばんそうこうをようやく貼ることができました。ホッとした子どもたちは、早くかさぶたになりますようにと、飼育ケースに戻していました。

日頃から、虫が大好きで、一緒に遊んだり世話をしたりしているからこそ、自分たちのケガと同じ対応

になったのでしょね。ずっと、年少さんの頃から、虫が大好きで、捕まえたり、触れたり、試したりと実物と触れ合ってきたからこそその姿なのでしょうね。そんな子どもたちの優しい発想に対し、「そんな虫のケガなんて・・・。」と思わず、一緒になって考えて、対応してくれる先生たちの姿も嬉しかったです。

《7月の保育について》

【3歳児】

- 先生や友達と一緒に思いきり水の感触を楽しむ。
- 先生や友達に自分なりの表現で思いを伝えようとする。

【4歳児】

- 友達に自分の思いを言葉や身振りで伝えて遊ぶ。
- 友達や先生と一緒に水の感触を体全体で楽しむ。

【5歳児】

- 自分の思いや考えを伝えながら、友達の思いも知ろうとする。
- 自分なりの目標をもち、工夫したり、試したりして遊びを進めることを楽しむ。



おねがい（野菜提供コーナーについて）

畑の野菜がたくさん収穫できるようになりました。「収穫したばかりなのに、また取れたね。」「食べきれないね。」という声を聞くこともあります。そこで、食べきれない野菜をほしい方に譲っていただけるようにできないかなと思いました。

玄関付近に野菜を置く場所を用意します。食べきれない野菜をそこに置いてください。そして、ほしい方はそこからもらって行ってください。交換するものがなくても大丈夫です。もし、余ったものがあれば、提供していただければ・・・と思います。よろしくお願いいたします。

七夕たのしみ会 遊戯室がプラネタリウムに



ファミリーで 彦星や織姫たちを探しました



カササギ ゲットしたよ！



思わず 拍手・・・

